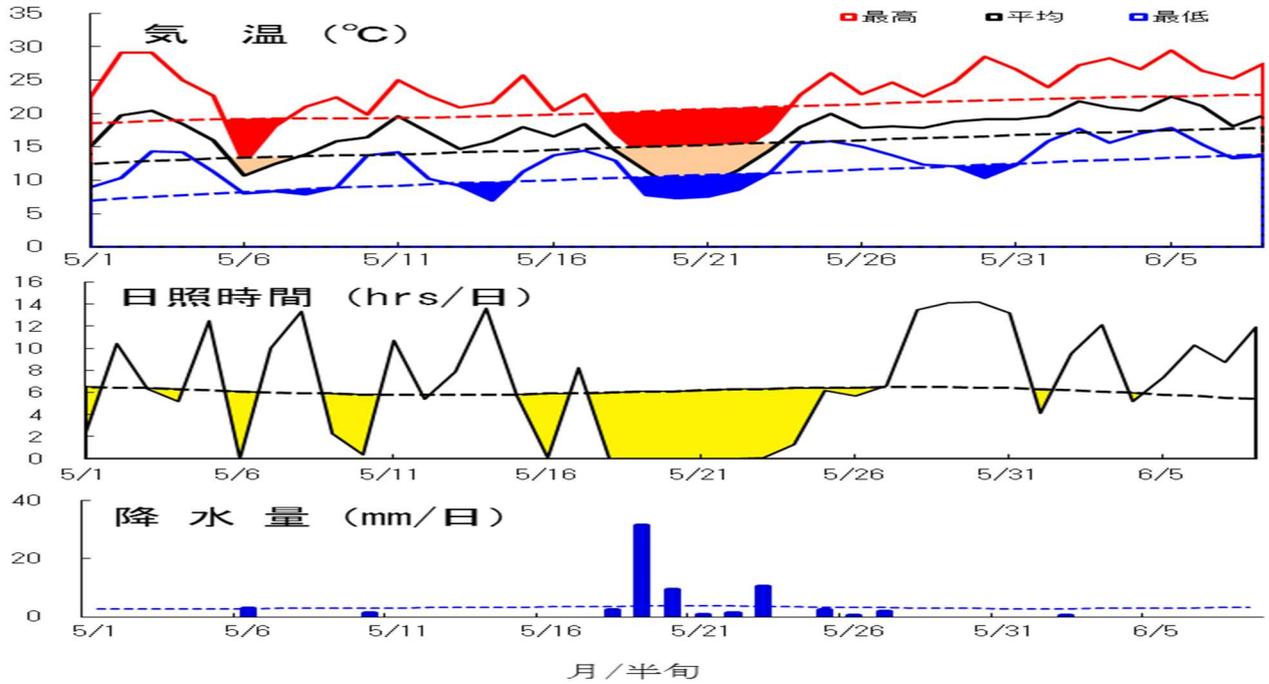


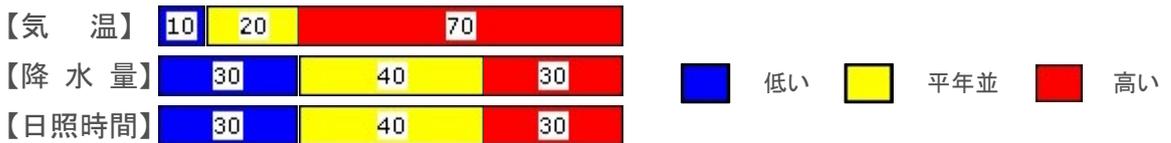
～田植後・5月中下旬低温でやや生育遅れでスタート、その後高温！！～

1 令和2年の気象(古川アメダス)



〔1か月予報:気温, 降水量, 日照時間の確率(%) 東北地方〕 6月6日～7月5日

- ・ 平年と同様に曇りや雨の日が多い。向こう1か月の平均気温は、高い確率70%
- ・ 1週目：高い確率80%， 2週目：並か高い確率40%， 3～4週目：並か高い確率40%



2 播種・田植状況

(1) 播種期 (4月24日現在)

- ・ 県では、昨年の茎数過多傾向や高温障害回避を踏まえ、晩期田植えを推進するため、5月の播種を推奨したが、例年通りの播種時期となった。
  - ・ 前々から晩期栽培を推進しているものの、現場ではなかなか実施されていない状況である。
- ※県の重点推奨事項：適正な播種時期による晩期栽培の徹底【稚苗で5月始播種】

播種期(県全体)

区分	播種始期	播種盛期	播種終期
本年	4月2日	4月11日	4月23日
前年	4月3日	4月12日	4月20日
平年	4月3日	4月11日	4月21日

(2) 田植進捗状況 (5月28日現在)

- ・田植始期，盛期とも平年並みの5月11日となった。終期は5月23日と平年より2日遅くなったが，中旬～下旬にかけての低温・寡照の影響と思われる。
- ・年次別に見ると，調査日の違いはあるものの，ほぼ平年並みの進捗率と思われる。

**田植状況**

区分	田植始期 (5%)	田植盛期 (50%)	田植終期 (95%)
本年	5月4日	5月11日	5月23日
前年	5月4日	5月11日	5月22日
平年	5月4日	5月11日	5月21日
平年差	並	並	2日遅い

**田植進捗率の比較**

年度	調査月日 (%)	田植進捗率 (%)
R2	5月28日	98.4
R元	5月27日	98.6
H30	5月25日	98.4
H29	5月25日	98.2
H28	5月25日	97.3
H27	5月25日	97.8

**3 生育状況 (6月1日)**

- ・草丈は，21.3cmで前年及び平年比で88%，87%にとどまっている。
- ・茎数も㎡当89本と前年及び平年の75%，77%となっている。
- ・葉数は，4.9枚で前平年より0.6枚ほど少なく，数日遅れていると思われる。

県全体	草 丈			茎 数			葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
	21.3	88	87	89	75	77	4.9	▲0.6	▲0.6

**4 今後の管理**

(1) 適正な生育量確保

- ・浅水が基本で，低温の日は5～6cmの深水で保温し，また深水等により茎数を管理する。
- ・生わらや未熟堆肥を施用した水田では，一時落水等でガスの発生や土壌還元による生育抑制を防ぐ必要がある。

(2) 雑草防除

- ・中期除草剤は，使用時期の幅が狭く，稲やノビエの葉齢に制限がある剤が多いので，ラベルをよく読んで処理する。
- ・薬剤の選定，使用にあたっては，最新の農薬登録情報を確認する。
- ・除草剤を使用する際は，止水期間を1週間程度とすることが効果のポイントである。
- ・直播栽培では，苗立ちが確保されたら時期を逃さず湛水して除草剤を散布する。

(3) 病害虫の発生と防除

- ・イネミズゾウムシやイネドロオイムシの発生は，5月下旬～6月は高温傾向に推移しており，発生は平年よりやや早まっており，適期の防除が重要である。
- ・本田でのいもち病の発生源となるため，補植終了後の苗は速やかに除去し，裏返す等，適正に処分する。

